

## 民生病院常任委員会審査概要報告書

委員長 中村 清志

- I 開催年月日 令和元年 7 月 16 日 (火)
- II 会議時間 午前 10 時 00 分～午前 10 時 15 分
- III 出席委員等 [出席委員] ◎中村 清志 ○曾田 康司 山口 泰祐  
石須 大雄 藪中 一夫 吉田 健太郎  
本田 利麻 高畠 義一  
(◎…委員長 ○…副委員長)
- [議長] 狩野 安郎
- [副議長] 坂林 永喜
- [説明員] 別紙名簿のとおり (藪下病院長は公務のため欠席)
- [委員外議員] 角田 悠紀 林 貴文
- [事務局職員] 安東 浩志 松本 武司 室川 弘昭  
堀田 寛之
- [傍聴者] なし

### IV 審査の概要

#### 1 報告事項について

〈 当局から、次のとおり報告・説明があった。 〉

[消防本部]

- (仮称) 高岡市・氷見市消防広域化協議会の設置について

〈 委員から次のような質疑等があった。 〉

( 以下、質疑・質問内容は ○ 、答弁内容は △ で表示 )

#### 【消防広域化の実施について】

- 協議会での協議によって、広域化の実施予定日が変更となる可能性はあるのか。
- △ 特別な事情等が発生しない限り、予定どおり広域化を実施する。これまで、両市の総務部門の職員も含めて準備を行っており、広域化は円滑に進められると考えている。
- 消防広域化を行うことが消防団にどのような影響を与えていると考えているか。
- △ 消防団の皆さんには現在も両市に火災が起こった際には応援という形で出動を行っていただいている。広域化による特段の影響はないと考えているが、協議が必要となった場合は、消防団の意見を伺ったうえで対応していきたい。

- 消防広域化により本市にはどのような数字的メリットがあるか。
- △ 本部機能がひとつになることから、両市の総務部門や予防部門等の本部人員の効率化を図ることが可能となり、人員配置や人件費にメリットがあると考えている。

**【協議会の会場について】**

- 財源不足の中、なぜホテルニューオータニ高岡を会場としたのか。
- △ 令和元年7月下旬を目途に両市長の日程調整をするなかで、開催日の午後に県西部6市の市長が集まる会議がホテルニューオータニ高岡で行われることが判明し、その会議終了後に協議会を開催することとした。会議の控え室を会場として利用させてもらうことになったため、追加費用は発生していない。

**2 その他**

- 行政視察について

7月30日（火）から8月1日（木）に実施する行政視察について、資料が配付された。

〈 委員から、次の質疑等があった。 〉

**【手足口病の発生状況について】**

- 子どもの手足口病が蔓延しているとのことだが、本市の保育園での発生状況は。
- △ 各保育園での発生状況については現在把握しておらず、確認後報告させていただきたい。
- 手足口病が本市には蔓延していないという認識で良いのか。
- △ 具体的な感染状況については把握していないが、県内では流行っているという情報もあることから引き続き注意していきたい。
- 県内他市では流行っているという報道もあることから本市に蔓延しないよう対策を取っていただきたい。（要望）

**【病児保育施設の周知について】**

- 病児保育施設の周知はどのように行っているのか。
- △ 病児保育施設については、本市が作成している子育て支援ガイドブック「おおきなあーれ」で取り上げている。病児保育を行っている民間事業者がチラシ等を作成し、周知したいということであれば、子ども・子育て課の窓口にはチラシを置き、PRすることも可能である。

〈 当局からの報告はなかった。 〉

〈 以上で委員会を閉じた。 〉

民生病院常任委員会 当局説明員（24名）

市民生活部長	梅崎 幸弘	市民病院長	藪下 和久
市民生活部次長 地域安全課長・環境政策室長	堺 啓央	市民病院事務局長	崎 安宏
共創まちづくり課長	室谷 智	総務課長 栄養管理課長	新田 裕子
共創まちづくり課 多文化共生室長	寺口 昌代	医事課長	長田 由美子
男女平等・共同参画課長	早苗 伊紀子		
市民課長	赤阪 典子	消防長	寺口 克己
環境サービス課長	柴野 泰彦	消防本部次長	浦島 章浩
		総務課長	有澤 智文
福祉保健部長	鶴谷 俊幸	予防課長	山口 喜代治
福祉保健部次長 参事	西本 幸夫	警防課長	布橋 隆男
社会福祉課長	山本 真弘	通信指令課長	川端 芳紀
子ども・子育て課長 保育・幼稚園室長	村上 彰		
高齢介護課長	森川 朋子		
保険年金課長	徳市 直之		
健康増進課長	山本 美由紀		